

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市立博物館協議会		
事務局 (担当課)		博物館 電話042-750-8030		
開催日時		令和3年11月17日(水) 午前10時00分～11時30分		
開催場所		相模原市立博物館 2階 実習実験室		
出席者	委員	9人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	5人(博物館長、外4人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題		1 あいさつ 2 議 題 (1) 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う博物館の対応と経過について (2) 博物館活動評価書に対する今後の対応について (3) その他		

議 事 の 要 旨

1 あいさつ

佐々木館長よりあいさつを行った。

2 議 題

(1) 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う博物館の対応と経過について

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う博物館の対応と経過について、配布資料に基づき事務局より説明を行った。

(岩野委員) 8月6日以降の夏休みに利用できなかった期間に、何か利用者からの声はあったのか。

(事務局) 「開館してほしい」という要望はあった。休館中もエントランスのみトイレ利用等のために開放し、パーティションを利用して展示もしていた。また、オリンピック・パラリンピックのうちわ等を配布して、持ち帰られるようにしていた。また、博物館公式 YouTube チャンネル(博物館ホームページ内「ネットで楽しむ博物館」)で、会期が縮小・延期となった企画展の解説動画や学芸員実習生の作成した動画を公開するなど、展示・教育普及事業は引き続き行っていた。

(谷内委員) 同じマンションの住民が YouTube を見たと言っていた。マンションにチラシ等を掲示していたので、そこから見たと言っている人もいた。「静かに見るだけなのになぜ博物館は休館するんだろうね」という話もしていた。

(事務局) 全国的にどこの博物館もクラスターの発生はなかったと聞いている。市の方針として外出を控える、ということになったため、残念ながら休館となった。

(浜田委員) 緊急事態宣言中にも学芸員実習生の受入れを予定通りしてもらってよかった。他の博物館では受け入れられないという返答が多くあった。受け入れるという決断は英断だった。お礼を言いたい。博物館は不要不急の施設だともいわれるが、文化庁には「博物館を再開させてほしい」という意見も多くあった。そのため今回は改めて博物館の必要性を痛感する機会になったと思う。

(沼澤委員) 今年の夏は子どもたちは博物館にも行けなかったもので、YouTube の発信はとても良いと思う。学校でも ICT の活用を検討している。今後博物館も ICT の活用を検討していただきたい。私が勤務する学校は、博物館まで距離があるので、ICT の活用により身近に感じられるようになり、実際に行ってみようと思うようになると思う。

(2) 博物館活動評価書に対する今後の対応について

博物館活動評価書に対する今後の対応について、配布資料に基づき事務局より説明を行った。

(谷内委員) 4-2について、全体的に中央区しかないと感じた。例えばタウンニュースもさがみはら中央区版のみで、博物館も中央区にしかない。南区や緑区に広げていく予定はないのか。

(事務局) タウンニュースは記事によっては、さがみはら南区版・緑区版にも掲載されている。例えば、吉野宿ふじやの記事は、さがみはら緑区版に掲載された、また、南区の相模大野駅にあるパブリックインフォメーションやイオン相模原店にあるデジタルサイネージにも情報掲載を依頼していて、駅の利用者や買い物客にも見ていただいている。

(吉川委員) 3-1に「…会によっては若い世代が新たに加入しつつあるものもあり、…」とあるが、具体的にはどの会か。私たちの周りの会も高齢化が進んでいて、どういう入口で若い世代が加入しているのか知りたい。

(事務局) 若い世代が加入したのは、例えば市民学芸員である。広報さがみはらで募集を周知して、12名の応募があった。その中で20代の方も3人加入した。登録者講習会で応募者を見たところ、現役世代の方が多く、女性はより若い世代が多かった。

(吉川委員) 若い世代が応募された動機はどのようなものか。

(事務局) 学芸員資格を取得していて、かつて学芸員実習生だった女性などが応募されている。

(浜田委員) 1-1の常設展示のリニューアルは財政難で厳しいことは承知している。今日常設展示をみたが、内照式のパネルが色落ちして見づらかったり、グラフィックパネルに載っている統計情報が古い情報になっていたりするものがあった。また、考古学も学説が変わっていて、その部分には貼紙をしていた。古い展示などはせめて予算建てして新しくしていただきたい。

(岩野委員) タイムリーな情報を一つだけでも更新してもらいたい。10年前のグラフと最新のグラフだと見た側の意識も変わってくると思う。

(吉川委員) 常設展示はそこに展示されていることが地域の人にとって誇りになる。かつては常設展示解説書を販売していた。博物館の使命を考えるとそこが弱いと思う。常設展示は市の文化度の問題。映像は映像であって、実物を見に足を運んでもらうことが大事である。常設展

示リニューアルはとても必要なことで、頑張って取り組んでほしい。
また、尾崎号堂記念館も多くの人に見てもらいたい。

(岩野委員) 予算に縛られることもあると思うが、前向きに考えていただきたい。

(岩野委員) 2-2の毎年行っている学習資料展について、自分が昭和生まれなので、炊飯器とか懐かしい、と試してみている。平成期の資料収集も必要ではないかという意見があるが、資料をどのように収集しようと考えているのか。

(事務局) 資料収集については、市民の方が家の片づけをした際などに連絡があり、担当学芸員が出向くか直接来館していただいて、収蔵資料にないものを収集している。しかし、新しいものは圧倒的に少ないので、将来的に集めていきたいと思っている。直近では、オリンピック関係資料などを収集したところである。情報通信機器は小型化しているので収蔵しやすいが、物理的に大きいものは収蔵が難しく諦めているものもある。課題としては、収蔵スペースの問題である。

(岩野委員) 受け身にならず、こちらから「資料を提供してください」という声かけもお願いしたい。積極的に呼びかけをして、なくなってしまう前に収集していただきたい。

(戸塚委員) 常設展示リニューアルの件、いつお金が出るかわからないと思うが、「これくらいお金が出たらこれくらいやる」という計画を立ててもらいたい。また、広報関係では、緑区と南区はタウンニュースも違うので、博物館の情報が少ないと感じる。もっと広報さがみはらに大きく載せられないのか。関心がある人は見るが、ない人は見ない。大きく載れば関心がない人でも目に付く。検討していただきたい。

(事務局) 広報さがみはらは、市広聴広報課から特集記事の照会があり、それに手はあげている。また、市の広報番組「ぞっこん! 相模原」では今年度4月号で博物館が特集され、その映像をエントランスで放映している。今後も、博物館所管施設を紹介してもらう予定がある。広報さがみはらの掲載については、「施設の催し」にまとめられる方針で、画像も提供しているが、なかなか掲載されない状況である。

(岩野委員) 4-2「広報資料送付を近隣の中央公民館区、大野北公民館区、大野中公民館区の自治会へ試験的に送付を始めている。」とあるが、広報資料とは広報さがみはらのことか。

(事務局) 学習資料展のチラシを試験的に徒歩圏内の公民館区に送付して自治会掲示板に掲示するよう依頼した。館内で印刷したポスターは雨に弱い紙質なので、屋外での掲示はできない。また、広範囲の掲示は量も膨

大となるので難しい。

(岩野委員) 効果はどのように把握するのか。

(事務局) 企画展等のアンケートの「何で知ったか」の回答で動向を把握し、効果を検証したい。

(3) その他

ア 「はやぶさ2」小惑星リュウグウのサンプル公開について

「はやぶさ2」小惑星リュウグウのサンプル公開及び招待について、事務局より説明を行った。

イ 退任委員からの一言

第13期で退任される、遠藤委員、谷内委員、戸塚委員、沼澤委員及び林委員からごあいさついただいた。

ウ 学習資料展「道具が変えるわたしの暮らし～過去から未来へ向かう記憶～2」の展示解説

事務局の案内により、希望者のみ学習資料展の観覧及び担当学芸員と市民学芸員による展示解説を行った。

以 上

相模原市立博物館協議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	沼澤 俊宏	市立内郷小学校校長		出席
2	五十里 雅子	県立相模原弥栄高等学校校長		出席
3	戸塚 厚生	市文化財研究協議会会長		出席
4	林 さとみ	市P T A連絡協議会副会長		出席
5	吉川 恵美	市女性学習グループ連絡協議会代表	副会長	出席
6	岩野 秀俊	日本大学生物資源科学部特任教授	会 長	出席
7	浜田 弘明	桜美林大学人文学系長・教授		出席
8	藤本 正樹	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所副所長		欠席
9	遠藤 正典	公募委員		出席
10	谷内 寿賀子	公募委員		出席